

# 桶川駅東口周辺地区の 整備に向けて



## ○ 駅前広場の整備について

今年度も昨年度と同規模の用地取得に対応できるよう予算を用意しており、鋭意、権利者の方々と話し合いを進めているところです。

なお、現在、移転が必要な建物等の調査は約8割を終え、内容等をおおむね各権利者にご報告したところです。今年度も権利者のご理解をいただきながら、建物等の調査を進めています。

## ○ 駅通り(駅東口通り線)の整備について

事業認可の取得に向け、埼玉県が国と協議を進めています。

今年度、埼玉県では予算なども準備しているとのことであり、動向がわかり次第、かわら版などを通じて情報提供していきます。

## ○ 地区のまちづくりについて

駅東口周辺地区のまちづくりには、駅前広場等の事業の具体的な推進とともに、南小跡地の利活用なども踏まえた継続的な検討や活動が必要であり、これまでに様々な調査等を実施してきました。

市では、その中で皆さんの意見をもとに作成した「桶川駅東口周辺地区のまちづくりのイメージ」を下絵として、さらにその精度を高めていくものと考えており、それには、地域全体の良好なまちづくりに向け、さらに地区内の道路や公共下水道の整備、新たな街並み形成ルールづくりなどが必要だと考えています。

そこで、昨年度は説明会を開催し、まちづくりのテーマやルールづくり等の必要性などを地域の皆様にお伝えするとともに、地区内の道路に関する考え方（裏図）などを整理したところです。（5月31日及び6月1日に開催した地区懇談会にて紹介しました。）

今後も引き続き、根幹をなす駅前広場や駅通りの整備を行いながら、地域全体の良好なまちづくりに向け、必要な区画道路の整備や駅前広場周辺のルールづくりなど、対象権利者の皆さんと一緒に具体的な検討を進めていきたいと考えています。

## 【地区懇談会の説明資料（抜粋）】



※お忙しい中、地区懇談会へご出席いただいた皆様に、あらためてお礼申し上げます。

## ★駅東口ピックアップ

6月20日、21日に開催された「べにばな祭り」に向けて桶川市観光協会が育てていた紅花も、地域の皆様に見守られて、無事に花を咲かせることができました。

育てた紅花は桶川駅の自由通路のほか、駅東口整備推進事務所の前にも設置し、短い間でしたがべにばな祭りのPRをさせていただきました。



- 配布しているお知らせや駅東口周辺地区の整備に関することなど、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

### 【桶川市役所駅東口整備推進課】

所在地 桶川市寿一丁目6番17号

電話番号 048-783-2526

E-Mail [ekitouseibi@city.okegawa.lg.jp](mailto:ekitouseibi@city.okegawa.lg.jp)

業務時間 午前8時30分から午後5時15分まで  
(土・日・祝祭日及び年末年始を除く)



桶川市マスコットキャラクター オケちゃん

## ★地区懇談会等質疑応答(概要)

### ○駅前広場について○

Q. 駅前広場の事業面積（約5,600㎡）は、今後変わることはないのか。

A. 延長100m×幅56mで事業認可を取得しており、面積のほか、位置や形状も変わることはありません。

Q. 駅前広場の整備事業は、完成までどの程度の期間を見込んでいるのか。

A. 平成31年3月末の完成を目指し、用地の取得を進めています。

### ○駅通りについて○

Q. 駅通りの事業認可の進捗状況はどうなっているのか。すでに事業がスタートしていると考えていたが。

A. 埼玉県が国と調整を進めていましたが、平成26年度中には事業の認可を取得できませんでした。現在も引き続き、県が国と調整を進めています。

### ○中山道交差点について○

Q. 中山道交差点の拡幅は、片側で約2~3mとのことだが、両側に均等に拡幅されるのか。

A. 現在中山道の道路幅員は約10mですが、これを16mに拡幅する都市計画がすでに決定しています。均等に拡幅する場合は片側約3mになりますが、道路の線形が必ずしも直線とは限らないため、場所によっては均等にはならないことも（2mや4mといった幅）考えられます。

## ○まちづくり計画について○

Q. まちづくり計画案（交通ネットワークの例）で、南小跡地と中山道を東西に結ぶ新規道路は無駄ではないか。

A. 駅東口周辺地区に不足している東西道路を補うため、また南小跡地を有効に活用するために必要となる主要な区画道路として、計画案を作成しました。しかしながら今回ご紹介した計画案は、あくまでも「案」であり、桶川市として整備を決定したものではありません。これから地域の皆様と一緒に、必要性や妥当性などを検討していきたいと考えています。

Q. 桶川駅を降りたら、商店がなく活気のない駅通りになっては困る。

A. 皆様に駅通り沿道の共通のイメージを考えていただき、その上で駅通りをどのようにしていくのか地域の皆様と一緒に考えていければと思います。

Q. 「歩いて暮らせるまちづくり」を実現するためには、駅東口周辺地区内に生鮮品を扱う店舗が不可欠だと思う。南小跡地や駅通りの沿道などで、今後そのような店舗が出店する見込みはあるのか。

A. 南小跡地の利活用については、過去に行った企業ヒアリング調査等では、ニーズはあるものの、まずは脆弱な都市基盤の改善が必要との見解をいただいております。市は整備できるところから順次事業を進めているところです。

駅通りも含めた今後のまちづくりについては、地域の皆様がまちの将来像をどのように考えるのかが一番大切なこととなりますので、今後も意見交換の場を持ちながら、地域の皆様と共に検討を進めていきたいと考えています。